

会 議 報 告 書	
会 議 名	第5回草津市中学校スクールランチ検討委員会
日 時	平成25年10月21日(月) 午前9時30分から10時45分まで
場 所	市役所5階502会議室
出 席 者	委 員：10名 事務局：高岡課長、水野参事、石松 傍聴者： 0名
欠 席 者	委 員： 0名
会議・打ち合わせ事項の関係書類 <input checked="" type="checkbox"/> 有(別添のとおり) <input type="checkbox"/> 無	
記録作成者	草津市教育委員会事務局 スポーツ保健課 スポーツ保健G 石松 恒人

事務局：

皆様本日は朝早くからお集まりいただきありがとうございます。本日も10人の委員全員に御出席いただいております。草津市教育委員会附属機関運営規則の第6条第1項の規定により、定数の過半数の御出席をいただいておりますので、第5回草津市中学校スクールランチ検討委員会を開催させていただきます。開会にあたりまして、久保委員長より御挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

委員長：

今日でよいよ最終ということでございます。どうぞ皆様よろしくお願ひいたします。

事務局：

それでは、運営規則第5条第2項により委員長は会議の議長となると定められておりますので、これよりの議事進行を久保委員長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

委員長：

それでは、次第2の前の議事概要等について、事務局から説明をお願いいたします。

《事務局 資料1-1、1-2に基づき説明》

委員長：

ありがとうございました。前回は、草津市中学校スクールランチの検討に関する報告書(案)を中心に御審議いただきました。現行のスクールランチ充実の姿をイメージいただき、たくさん御意見をいただきました。前回は振り返る中で、御質問や追加意見などがありましたら、忌憚なく御発言くださいますようお願いいたします。

委員長：

よろしいでしょうか。それでは、第4回の議事概要と会議報告書につきまして、御承認いただ

ける方、挙手をお願いいたします。

《委員全員挙手》

委員長：

挙手全員により承認をいただきました。

では次に、次第3の草津市中学校スクールランチの検討に関する報告書について、事務局より説明をお願いいたします。

《事務局 資料2に基づき説明》

委員長：

ありがとうございました。草津市中学校スクールランチの検討に関する報告書について説明をいただきましたが、なにか御質問また追加意見等がありましたらお願いします。

委員：

文言も含めてですが、「3. 事務手続きの軽減」の2行目から3行目にかけて、「現場に負担のかからない方法を考えることが望まれる。」となっていますが、「望まれる」の前が、「考えることが」となっているので、弱く感じます。「考える」のところを、「実施する」に変えると「実施することが望まれる」ということなので、少し強くなるのではないかと思います。

「2. 利用しやすい制度」の文章の中に「地産地消」という言葉が入っているので、「4. 食育の推進」でも「地産地消」や「草津のものの利用の推進」というのは必要という気がします。

【具体的改善・充実策】二番目の「レシピ」のあたりになると思いますが、「地産池消、地場のものを利用したレシピ」とか「滋賀産」と言った書きぶりをしておいたほうがいいのではないかと思います。

委員長：

二つ目の中点のところ、「全ての生徒や保護者に対して、地元の食材を活用した弁当レシピや朝食レシピ」と言うようにしたらどうかということですね。

委員：

いまの、「3. 事務手続きの軽減」のところですが、「実施することが望まれる」という表現でぜひお願いしたい。

もう一点、報告書の冒頭部分「中学生の昼食に適しているとは言えない。」のところを、「言い難い。」と言う表現にした方がいいと感じました。

委員：

前段の部分は、家庭弁当持参制があくまでも中心であるという話がちょっと弱く見えるので、もう少し強く出しておいた方がいいのかなという感じがします。

事務局：

検討させていただきます。現行のスクールランチがさらに充実したものになるようにと考えています。

委員：

スクールランチは、3年経ったらまた見直すという位置付けですか。

事務局：

事業として充実させていく中で意見等を聞き、毎年より充実したものになるよう考えていかなければなりません。

委員：

よりよいものをさら更に作っていくという姿勢を前段最後の方に書いておいてもいいのではないかという感じがします。見直しの時期が決まっているのであれば、その時期によりよいものを作るんだという宣言をしておいた方がいいでしょうし、そうでなければ良くしていくんだという宣言をしておいた方がいいという気がします。

委員長：

語尾がまちまちになっているが揃える必要はないですか。「望まれる。」「願う。」「必要がある。」になっています。

委員：

「望まれる。」は保護者の方が望まれていると読めます。「願う。」は誰が願っているのでしょうか。2番も「必要がある。」でいいのではないですか。

委員長：

語尾については、事務局の方で検討してください。

委員：

先週に出ていた新聞記事で、大津市が市内全中学校にスクールランチを導入するという内容ですが、気になることが書いてありました。「保護者の負担軽減などを目的としているが、一日の平均利用率は1.78パーセントにしか過ぎず、大津市教委が目標とする2パーセントにも満たない。」その次に、「アンケートによると約1ヶ月間で1回のみ利用が圧倒的に多い。クラスで一人しか利用者がおらず、周りを気にして申し込みづらいという生徒の意見もあった。」と書いてあります。

せつかく、地産池消とか、いろんな食材を考えてもらって、栄養も器も、いいものを用意しても、注文する段階でそういう子どもたちが多いとなるとパーセンテージは上がりにくいですね。

委員：

何も恥ずかしいことではないのに、根底にスクールランチを頼むことへの恥ずかしさを思っている生徒がいるようです。保護者間のネットワークがあれば、頼むことへの抵抗がなくなる気がします。

委員：

みんなが利用しだしたらいいが、自分一人だけでは抵抗がある。そういう意味でも、試食会は大切だと思います。生徒たちの間で、スクールランチもいいなと思うかどうかということで試食会の位置付けは大きいと思います。

委員長：

周知文や試食会については、その時々で工夫が必要です。試食会も一度したから終わりとならない工夫がほしいですね。

委員：

子どもたちへの周知の工夫がほしいです。保護者は広報等を読みますが、子どもたちはあまり見ません。子どもたちの身近なものになるといいです。

委員長：

中学校で学校給食のメニューコンクールをしています。業者主体でやっていただけるといいですね。学校によっては、取り組みをされています。今日の献立が、私たちの考えたメニューとして提供されると子どもたちの関心も高まります。

事務局：

今までの御意見を含めモニタリングということで、保護者の方ではなくて、子どもさんへのモニタリングが大切だということですね。

委員長：

スクールランチの制度を見直すという報告書なので、開始されてから随時検討していただくということでよろしいですか。モニタリングしながら工夫して周知方法についても考えていただく。

委員：

利用率を上げるというよりは、周知を徹底して、頼むことが恥ずかしいことではなく、使いやすいということを子どもたちがしっかり知るのが一番いいのかなと思いました。使いやすいと、頼んでいることが恥ずかしいとか、嫌だなと思わずにすむという意識を子どもたちが持つてくれるようなアピールの仕方が一番大事かなと思います。

委員：

選択肢にスクールランチが入ってくるといいです。

委員：

職場体験した中学生が、保育園で温かい物を出していただいたのがとてもうれしかったと言っていたのを聞きました。

委員長：

スクールランチで温かい物が提供されるといいですね。業者との協議となりますね。

委員：

事務局から市内の各中学校長に説明に行かれたそうですが、そのときの学校長の反応や感触を聞かせていただけますか。

事務局：

中学校では、弁当持参制をすすめていることと、そして、そのことへの努力をしている話を伺った。また、いまのスクールランチをうまく利用させていただいているという学校もあった。各校とも現場への負担軽減について質問された。

委員長：

弁当持参制というのは、今回最後まで残ったことです。どれだけ利用があるか、利用率だけが、低いとか高いとか、一人歩きしないような形で草津市はやっていってほしいです。

委員長：

よろしいですか。それでは次第4のその他について説明をお願いします。

事務局：

本日いただいた意見や文言の修正等につきましては、委員長と協議をさせていただき最終報告書の取りまとめをさせていただきたいと考えておりますが、それでよいか委員の皆様にご了解をいただきたいと思っております。

委員長：

提案があったように、最終報告書の取りまとめについて、一任していただくということによろしいでしょうか。

《委員 了承》

委員長：

ありがとうございます。
それでは本日の検討委員会の議長を交代させていただきます。

事務局：

長時間にわたり御審議をいただきまして、ありがとうございました。
本検討委員会の閉会にあたり、課長より挨拶させていただきます。

《課長 挨拶》